

利用者の情報行動

筑波大学図書館情報メディア系 教授
筑波大学附属図書館研究開発室 室員
逸村裕 hits@slis.tsukuba.ac.jp

Does anybody really know what time it is? Robert Lamm

COVID-19 蔓延、「露による宇侵略」により社会状況は一変した。大学そして大学図書館においてもその影響は大きい。2022 年の現時点、全国的に対面授業の割合が高くなってきたが、その実態は 3 年前とは異なる。この状況で利用者の情報行動と大学図書館を考える。

1. 大学の中で図書館は

(1) 大学内での位置づけ

電子化対応

(2) 社会から大学への要求

(3) 大学図書館への要求

利用データを見ていますか？

2. COVID-19 下の情報行動

(1) COVID-19 と大学・大学図書館関係の概況

(2) 各種調査結果

文部科学省 科学技術・政策研究の調査研究報告書

<https://www.nistep.go.jp/archives/category/news/research-outcomes>

3. 学生の情報行動

(1) 高校生が授業や学習で調べ物をする際の情報源 (n=393)

複数回答	%
インターネット	91.3
学校図書館	30.0
公共図書館	21.1
書店	15.3
決まった情報源はない	5.1
国立国会図書館	0.5
大学図書館	0

小野永貴, 常川真央, 宇陀則彦. 新型コロナウイルス感染症に伴う図書館利用制限が高校生へ与えた影響に関するオンラインアンケート調査. 学校図書館学研究, 2021, vol. 23, no. 1, p. 34-45.

(2) ツール

情報を得るツール 複数回答	%
テレビ	52.7
Twitter など短文 SNS	43.2
Youtube など動画サイト	36.9
教科書参考書	34.8
本	33.6
Instagram など写真 SNS	25.1
ニュースサイト	22.9
新聞	6.8
ブログなど長文 SNS	3.4
ラジオ	2.6
雑誌	1.6

日本財団「18歳意識調査」 2020.10. (n=1,000)

(3) スマホ

SNSの利用	
普段 SNS を利用している	916
過去利用していた	24
利用したことがない	60
SNSの利用使用時間	
4時間以上	209
2-4時間	352
2時間未満	379
SNSの利用用途	
情報収集	804
友人とのやりとり	755
学校や仕事との連絡	755
情報発信	69
ゲーム	29

日本財団「18歳意識調査」 2020.10. (n=1,000)

(4) ライブ・エンターテインメント市場

1998年当時7,000億円あったCD等による音楽パッケージ市場の売上高は2013年には2,705億円となり、1980年以来の最低額を更新した。音楽配信市場に関しても、インターネット配信の売上増加がみられるものの、スマートフォンの急速な普及を背景としたモバイル向け配信の減少を補うことは出来ず市場全体としても降下傾向にある。音楽パッケージ市場と音楽配信市場の低落の一方で、ライブ・コンサート市場は堅実な伸びを見せている。2013年は5万回以上の公演が開催され、市場の8割を占めるポップスは右肩上がりに成長している

デジタルコンテンツ白書. 2014.

2019年ライブ・エンターテインメント市場6,295億円、2020年1,306億円。音楽フェス市場は2019年度比約98%減となった。2020年のコロナ禍の影響を試算

https://corporate.pia.jp/news/detail_live_enta_20200630.html

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響による学生等の 学生生活に関する調査（結果）

文部科学省. 2021. 3.

無作為に抽出した学生約3,000名⇒有効回答者：1,744名

オンライン授業について

全体的な満足度としては、不満を感じる割合より満足を感じる割合の方が多い。理解のしにくさや、人との関わりがないことなど教育の質に関わる課題等により不満を持つ学生も多い（満足していない：5.7%、あまり満足していない：14.9%）

経済状況について

2021年1-2月（緊急事態宣言発令中）のアルバイト収入が、前年10-12月（未発令時）より大きく減少した学生は約2割。

悩みについて

将来のキャリア	73.3%
経済的な状況	40.7%
授業等	37.9%
相談先 保護者や兄弟姉妹	65.4%
友人	68.7%
同級生・先輩後輩	58.7%
教職員や相談窓口	17.4%

あなたのいばしょ <https://talkme.jp>

情報発信について

大学からの情報発信を目にする学生の割合 6～7割

https://www.mext.go.jp/content/20210525-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf

(5) 学生実見

- a. 呼吸するようにスマホ ggr
- b. 情報探索に関する根拠なき自信
- c. レポートを書くことへの不安
コピペ/剽窃/引用 ウィキペディア 書誌記述
- d. 手慣れたプレゼンテーション
- e. 教科「情報」の影響
メディアリテラシー ネット犯罪 情報セキュリティ 情報倫理 著作権 Fake news
プログラミング
- f. アクティブラーニングの今
- g. なんでデジタル化していないんですか？

4. 研究者の情報行動 Publish or/and perish

(1) 研究者と評価

若手 終身在職権（テニユア）への道
任期制 テニユアトラック

JREC - IN Portal

中堅・シニア

評価 ジェリー・Z・ミュラー著，松本裕訳．測りすぎ：なぜパフォーマンス評価は失敗
するのか？ みすず書房，2019.

(2) 若手研究者の情報行動は近未来を変える・・・

ITCに馴染んだ世代が学術世界の様相を変える？

Open Science

Open Access

PID

Altmetrics

(3) 研究者は図書館が提供するDBを使っている？

Google, Google Scholarで済ませている？

それでも学術は進んでいく

5. これからの大学・情報環境・大学図書館

国立大学法人運営費交付金成果を中心とする実績状況に基づく配分

https://www.mext.go.jp/content/20210924-mxt_hojinka-000017234_1.pdf

未来社会

Society 5.0 SDGs 持続可能

黒木優太郎、小柴等 (2021) 「第 11 回科学技術予測調査における実現見通しの回答者所属・年代別比較分析」, NISTEP DISCUSSION PAPER, No.194, 文部科学省 科学技術・学術政策研究所. DOI: <http://doi.org/10.15108/dp194>

大学図書館は何をできるのか 何をなすべきなのか

逸村裕. いまこそステークホルダーを意識しよう (特集 研究者から図書館に物申す). 大学の図書館, 2020, p. 136-138.